

本日は、両総土地改良区通常総代会のご盛会をお慶び申し上げます。森理事長はじめ、組合員、役職員の皆様におかれましては、日頃より土地改良の推進や施設の維持管理等を通じて、地域の農業・農村の振興・発展にご貢献いただいておりますことに心より敬意を表しますとともに、私宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援を賜り衷心より感謝申し上げます。

はじめに、本年元日に発生した「令和6年能登半島地震」によりお亡くなりになられました方々に哀悼の誠を捧げさせていただきます。また、被災されて不自由な避難生活を余儀なくされている皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきつつ、現場でお聞きした皆様の声やご要望を踏まえ、それぞれの地域事情に即して全力で対応してまいりました。昨年十一月に成立した令和5年度補正予算のうち、土地改良関係では、前年度の補正予算から100億円増の1,777億円を確保でき、この中には、皆様から強いご要望があった、電力料金増嵩額の7割支援を4月まで延長する対策も含まれていました。また、十二月末に閣議決定した令和6年度当初予算案では、前年を上回る4,463億円が計上され、補正予算と合わせた総額は6,240億円となっております。本通常国会において、早期成立に向けて努力してまいります。

さらに、本通常国会においては、「食料・農業・農村基本法」の改正が予定されておりますので、我が国の食料安全保障のあり方や食料供給基盤の強化等についてしっかりと議論を深め基本法に位置付け、土地改良が担う重要な役割を今後も果たせるよう、土地改良区の運営基盤の強化を図っていくことが重要です。

私も、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念に、皆様から現場や地域に関するご意見をしっかりと伺いし、必要な予算確保や制度充実に向け、鋭意努力してまいりますので、引き続きのご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、両総土地改良区の益々のご発展ならびに関係の皆様のご健勝を心より祈念申しあげ挨拶とさせていただきます。

令和六年三月十九日

全国水士里ネット会長会議顧問

参議院議員

宮崎 雅夫

